

活動支援（ホップ）部門採択事業報告



事業名	のびのび親子ふれあい体操
実施団体名	NPO 法人子育てネットワークあすなる
事業の目的	情報化社会の現在、携帯モバイルが発達し、子どもから高齢者まで日常的に利用する様子がみられる。便利な反面、人とのコミュニケーションが希薄になり、乳幼児を持つ親世代も、相談ができない、育児の仕方がわからない、育児によるストレスを抱えるなど深刻化している。○親子で一緒に体を動かし、子どもの運動能力を引き出しながら、親世代の体づくりを行う ○親子でふれあえるコミュニケーションの機会を作る ○指導者の育成を図る
補助金額	22,000 円
事業の概略	未就園児親子を対象に、立位、座位、ストレッチ、柔軟運動など、子どもと一緒に 行う動きを主にしたプログラムを実施。マット、ボール、風船、ロープ等道具の特色を活かして、体の動きの幅を広げて内容を充実させた。また、子どもの月齢に合わせて各々のプログラムを組立てた。 6月：沖村児童館にて体操をデモ実施 内容を確認、調整 8月：健康ドームにて開催 9月：鍛冶ヶ色児童館にて1～2歳児を対象に実施 10月：鹿田、六ツ師児童館にて実施 11月：宇福寺、熊之庄、沖村児童館にて実施 12月：久地野、九之坪、井瀬木児童館にて実施 平成29年2月：文化勤労会館にて開催 3月：鍛冶ヶ色児童館にて2～3歳児親子を対象に実施
事業の 効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平日と土曜日に開催することで、母子、父子、就労している方等、様々な対象者に向けて対応し参加しやすくした。 ・家庭でもできる様に風船、新聞、タオルなど家庭にある物を使った内容を入れた。 ・文化勤労会館など大きな会場で実施時は、対応できるマットや跳び箱などの大きな運動器具を使用した。
実施しての 問題点	補助金事業が終了した後も事業を継続していくために、他のイベントへの参加や、行政の委託事業として活動を広め、参加費を有料化するなど資金を確保しなければならない。
課題・今後の 展望	開催の機会を増やすため、他の団体にPRしていく。 内容のスキルアップをしていく。
審査員評価	認知度がアップしたと思われる。親子で体を動かしながらスキンシップを図ることができる。身体を使うこともスキンシップも子どもの育ちには不可欠だと思う。

活動支援（ホップ）部門採択事業報告

アドバイス・期待する点	定期開催の講座で安定させて、地域子育てサロンなどへも広げていけるとよい。動画発信すると、出かける時間が合わない親子もチャレンジできるかも。のびのび親子ふれあい体操と他の企画との協働作業を期待。効果についてのアピール（第三者を使って）がほしい。
-------------	---